

寺崎組新聞

第八十六号

発行所 寺崎組新聞社

寺崎組。台風の中。宮城を攻める

第百五十四回 組会報告

寺崎組組会が宮城で開催されると言うので、メールをしたところから運命は決まっていた。台風4号が接近してきている。勢力は強いし、今回は無理だろうと思つた。矢先に寺崎さんから「寺崎組は台風でも野宿します」と。その後には「宮城は影響ないでしょう」と。台風の迫ってくる中、集合時間の13時に滑り込む。指定場所には5名集結していた。



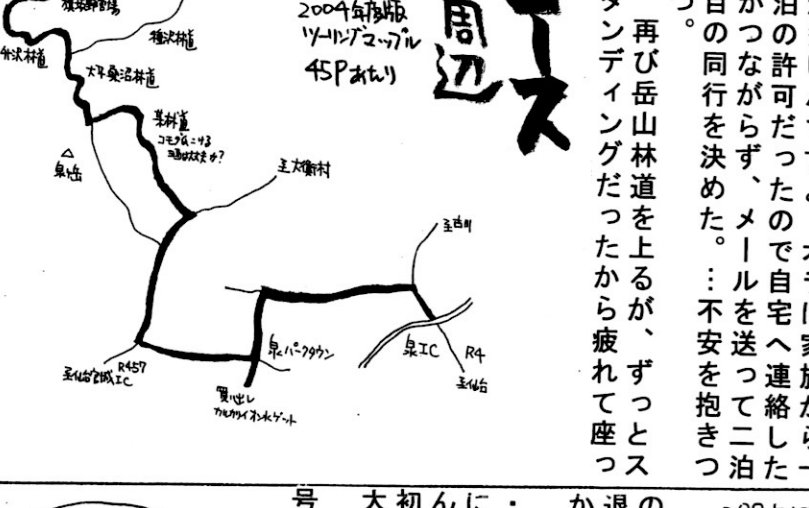
寺崎組長さん(KTM LC4)、地下鉄さん(DR250S 謎改)、三浦さん(セロー組長仕様)、藤田さん(ジェベルXC)それとオラ金子3号(TLR200)の6名が最終参加人数でR。まずはご挨拶をしてから買出しへ。初めての参加で行動パターンが読めない。何をどれだけ買っていいものか。自分分がいいんだよ。と言うらしいが、各人カゴの中身はビールと大量の食料。

「ええっ！こんなに食べるの」って感じ。組長さんが「水が無えなす」。と再びスーパーへ。帰って来た途端「ヒューヒュー、アルカリイオン水Get!」(内容は深く聴かぬよう)流石です、脱帽。さて出発し泉ヶ岳方面へ。地元ながら初めてのコース高野原林道。先頭から、組長さん・FM佐藤さん・三浦さん・オラ・地下鉄さん・ゴ三浦さん。雨で前が見えぬ中林道突入。ちよつと走った所で軽く押さえた荷物の水が暴れだし、ペットボトルが落下。ザックに入れ直す。先で待っていて頂き再出発。先頭、組長さんとFM佐藤さんは飛ばして離れていく。セロー組長さんは二輪免許取り立て、更に林道体験も初めてらしいです。そんなセロー組長さんが登りのワダチにフロントを取られ、両足が離れたところでリアが浮き飛んだ！左足をセローに挟まれ、狭い道だったなら落下したかもしれない。仏仏。そこへ入電「酒は無事か?」と。顔を合わせ笑う。(記憶が曖昧だけ)登るにつれて霧が濃くなり、出たところはスプリングバレースキー場。ここから大平桑沼林道に入る。路面は荒れていて、賽の河原状態に水溜まり多く走りづらい。そのまます沢林道へ入る。セロー組長さんは遅れながらも徐々に走り覚え、ペーシングが上がる。他のみなさんは手慣れたものでドンドン進む。舟形山の登山口、旗坂野営場に出た。今晩はここが野営地のようなのだ。雨はあがって天場を作る。テントの向きは放射状に組まれ、中心の上のタープが張られた。これは初めての体験だ。まるで西部開拓の幌馬車隊のようだ。しかもとても合理的でそれぞれのテントから体を出して料理を作り、顔を合わせて酒を呑み、食事を。更に料理は自分+アルフ

アで隣にまわす。話に夢中になってると料理が自分のところで止まり、誰とも無く「停滞 停滞!」と声が掛かる。ペースつかめず、オラが作った麻婆茄子エリンギ豆腐後入れタマネギがマズク申し訳ありませんでした。翌日中華だしを発見した。後の祭りでした。台風の影響で雨は強くなり、宴会中にも雨は溜まり、時々掻き出す始末。そんな中、ゴ三浦さんがいらんことを。組長さんのテントの中に大量の雨水が。浸水です。組長さんが天を貫く声で「除名!」と。初めて聞きました。ゴ三浦さんは終始陳謝。(詳細はゴ三浦さんに聞いてください)FM佐藤さんは仕事都合で一旦山を降り、22時に復帰しました。みなさんは既に就寝。二人で東北の林道情報を交換し合いました。夢心地の深夜2時に「カラン」ガシャン。ザバア、ナヌナと起きてみれば、タープの排水が出来ず溜まりに溜まった水の重みでバイクが倒れ、FM佐藤さんにテントごと本人を直撃!大事に至りませんでした。ご本人は大事に驚かれたでしょう(本当に仕事でし



たか? 本当に...里で何かいい事を...朝は早くからテントの中が水浸しの組長さん「シユノケル欲しいな」と。ゴ三浦さん:沈黙。雨は更に強くなり、地下鉄さんの調子悪いラチオに耳を寄せる。あつ! そうだ、組長さんもゴ三浦さんもラチオで台風情報を聞いていた。食事を作る中、ゴ三浦さん何を思ってか地下鉄さんの炊飯中のご飯を蹴っ飛ばす。またしてもゴ三浦さん:陳謝。地下鉄さんは「ブツブツブツ」。食事も終わりに撤収。本日は小荒沢林道より大滝野営場へ。ここでは台風の中、静岡と盛岡の年配登山者が準備していた。頂上を目指すそうです。引き返すのも登山と聞いた事があります。無事を祈ります。登山者と別れ岳山林道を下る。青野岳山林道は荒れていて、の情報が迂回し、長沼の野営場へ。山中に「デレン」と宿泊施設・水洗トイレ・炊事場と何故か立派な舗装道が現れた。台風をやり過ぎすには絶好の隠れ蓑!組長さんより「今日の宿はここ!」と指令が飛んだ。昼を食べ、里へ買出しへ。ここから組長さんの後、二番手を頂いている。目の前を走る組長さん!安定している。ライン取りが正確。安



全なコーナリングフォームで先を見つめる。LC4のトルクで立ち上がり尻を振る。乗りこなしている。オラはこんなビッグバイクでこんなとこ走れないと思う。どんだん離れられ。必死で追いつこうとするオラ。嬉しくて走っている最中にニヤニヤする。道は葡萄沢林道に入る。初心者の藤田さんも早くなってきた。組長さんさすが四駆使いだね。組長さんは「FM佐藤さんはジェベルになったら、早くなつた」と仰っていた。よく見てるんだな、組長さんは。途中通行止めには遭うも、FM佐藤さんの経験で迂回路を使って里へ着いた。



「途端にフロントが暴れ出し右コーナーをオーバーラン!谷底に落ちるところだった。仏仏。野営地に到着後、ゴ三浦さんから言われた。あとちよつとで落ちたね(笑)」と。とりあえず。で二日目の宴会突入です。早速料理大会ですが、オラはまだペースをつかめないまま時間が過ぎる。FM佐藤さんの手早い料理、地下鉄さんの26センチフライパンはサラダポールへ変身。組長さんはじっくりコトコト本格シチュー、藤田さんは大好物ラム焼き、オラは段ボールいや肉団子。FM佐藤さんの新作物も登場する。唄も始まり、地下鉄さんの中島みゆきも哀愁がある。組長さんの昭和天皇?も聴けた。時おりみんなハモリ(音程ズレ)、たのしい。組長さん就寝の後、ゴ三浦さん、地下鉄さんと3人で話をしたけど疲れて酔って覚えていない。失礼。



家族に無許可で二日目を過ごしたので、朝5時から身支度をして早々、退場した。東京組の見送りまで居たかったのですが残念です。塾に初参加し、ひとり一人の技術・知恵の深さに感動しました。そこにはソロツリストの集合体があるんです。それを率いる寺崎さん、初参加の者を暖かく迎えて頂く懐の大きさに感謝します。今回の塾はオラにとつて台風4号、寺崎組のものであった。



記 238号 金子3号

赤貧ズ ブート キャンプ in 下栗

『ギンギシ、ガシガシ』と派手な音をたて、急な山坂をあえぎ登るの... 赤貧ズは反対側(下栗)のオーキヤン広場に変更になりました。『赤貧ズは反対側(下栗)のオーキヤン広場に変更になりました。』

このあと我が移動部隊と国道ですれ違った怪しいガス欠スクーター乗... 『別の名をウナギと言う』は、この伝言メモに永遠と絶望の2キロを

デモデスネ、あったんですよ、口惜しくも完全施錠のゲートがそこ... キャン取材でゴキブリ野宿された場所

2日目の広場では7時半の朝日がすでに肌を焦がし、避難撤収の木陰... 卓球台を組み上げたのでした。脚さば

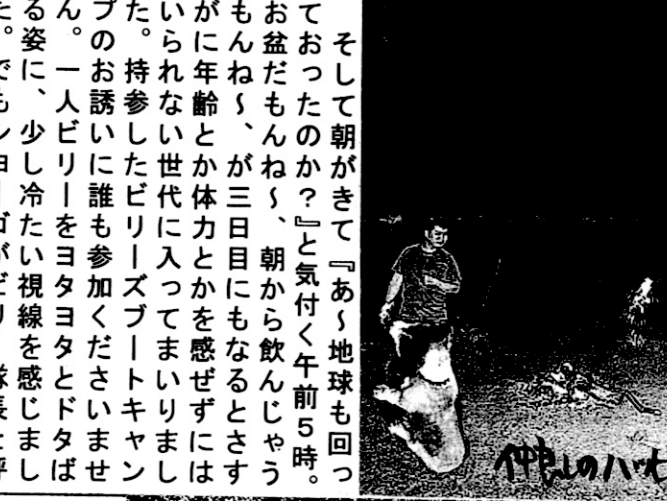


こちら側にもやはりありました。ゲートが、すり抜け斥候GX酔金情報... 三兄弟(タケロー、リョータ、シヨウ)



県民川合君は小生宅より僅か2キロに住む950ADV乗りのハンモック... 『なんでもワシがクタバリ頭やねん!』

『なんでもワシがクタバリ頭やねん!』... 『なんでもワシがクタバリ頭やねん!』



●久しぶりの組会でした。楽しかった... 東北組会はいつも雨だけど、集まってくれた皆さんありがとさんです。

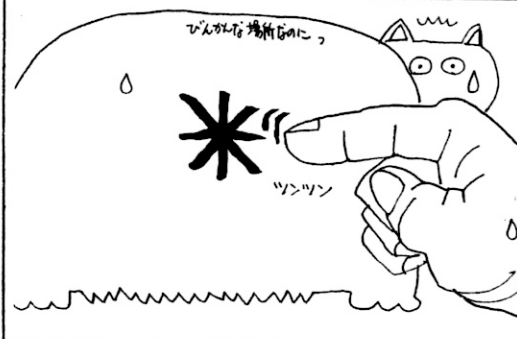
の旅のお話には心惹かれるものがありました。そして晩なつて元ちやんGSにて登場。ささみんなそろった。ささののものも。



そして朝がきて『あ、地球も回っておったのか?』と気付く午前5時... お盆だもんね、朝から飲んじやう

あ、もう最終日か8月15日。みんなが買出しに下つて1人の折、まじめに考えることもあるらびその

赤貧工業所... 赤貧工業所... 赤貧工業所...



編集後記... 大工子育て仕事で新築のマンション... 地下組長丁三は重い腰を上げて

新人紹介... 第二百三十八号... 金子秀一... 仙台のTLR製 CBX1000もEXCも集める肥料屋。